

【事業所職員向け】児童発達支援自己評価表

記載日:令和4年度

職員3名 回答者3名回収率 100% 療育ルームオーロラ

公表日:令和5年 3月 31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が支援スペース等との関係で適切あるか	100%		・個別支援を中心に療育を実施しているので、空間は珠文に確保できている。
	2	職員の配置数は適切であるか		100%	・必要な人員が確保できていない時間帯がある。
	3	支援空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	33%	67%	・指導空間が通路になっている事、通る人で児童発達支援を理解していない人がいるので、絵本や集中して取り組んでいる時などに配慮がなくて、気が散ってしまうことがある。
	4	支援空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%		・園庭はありませんが、支援空間は適正であると思います。
業務改善	5	業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか	100%		
	6	保護者向け評価表により保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し業務改善に繋げているか	100%		・保護者からのご意見に対し真摯に受け止め、改善点を検討し事業に生かすように検討しています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%		・評価はHpに掲載をしている旨を周知していただいています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		100%	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	50%	50%	・コロナ過の為、リモートや紙ベースで実施。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%		
	11	子どもの適応行動の状況を、図るために、標準化されたアセスメントシートを使用しているか	100%		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%		・支援計画に基づき支援を実施しています。

	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%		・チームでの話し合い、立案に役立てている。
適切な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	100%		・適応の状況を見ながら、個別からグループへと実施をして
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の内容や役割分担について確認しているか	100%		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%		
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%		・必要に応じて担当者会議に参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%		・相談支援事業所、市の福祉課、保健センターなどとの連携を図って進めています。
	23	医ケアが必要な利用者の場合、地域の保健、医療障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	100%		・職員も医療的ケア児等のコーディネーター研修を受けて、相談、連絡体制をとっている。
	24	医ケアが必要な利用者の場合、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	100%		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%		・相互の訪問等出来る範囲で行なっている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%		・必要な資料や情報提供を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%		・相談支援専門員に相談・助言を受けている。

関係機 関や保 護者との連携	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	100%	・通園児も対象なので、特別に交流の機会は設けていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	100%	・各市町の支援協議会に参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解をもっているか	100%	・保護者さんとは常にお話、相談などの機会を持って居る。
	31	保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	100%	・子育て支援にかかわる相談や具体的な内容について支援している。
保護者への説明責任等	32	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	・契約時や福祉サービスの改定時には、書面でもお話をしています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	・モニタリングも含め支援計画の内容を示し保護者の意見を戴き、同意を得てから、実施に移していく。また、変更が所持することがあれば対応して進めていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%	・個別支援を中心に活動しているので特段に支援はないようです。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の制度を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合には迅速かつ適切に対応しているか	100%	・子育てに関わる色々な相談を受けている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	・情報提供や連絡を行っているが、会報が不定期的に発行となっている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか	100%	・地域住民との交流は特段に実施していない。

非常時の等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%		・業務継続計画を作成している。法令遵守を行います。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行ったか	100%		・コロナ過のため書面での注意喚起を行っている。業務継続計画を行っている。・また、積極的に訓練等をアピールをしていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%		・必ず、服薬、感染症の予防等を確認に努めています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	100%		・食事やおやつの提供は行ってないが、小麦粉アレルギーの子では米粉を使用し粘土あそびを実施している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で研修会を確保しているか	100%		・事故報告、ヒヤリハット報告は、再発防止を検討している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%		・虐待防止法の為のセルフチェックを毎月実施。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%		・現状では該当者はいませんが、必要な事項は実施していく。身体拘束廃止委員会での事案を資料提供している。